

2020 年度 小委員会活動成果報告

(2021 年 2 月 19 日作成)

小委員会名	木質バイオマスによる地方創成モデルの検討 小委員会	主 査 名：浅野 良晴 就任年月：2019 年 4 月
所属本委員会 (所属運営委員会)	地球環境委員会	委員長名：糸長 浩司
設 置 期 間	2019 年 4 月 ～ 2021 年 3 月	
設 置 目 的 各年度活動計画 (箇条書き)	<p>(設置目的) 低炭素化社会の推進, ZEH・ZEB 化の促進に対する再生可能エネルギーとしての位置づけを考えたとき, 木材と木質バイオマスの需要は活性化されなければならない。然るに生産と流通の問題が顕著である。それらを明らかにし, 課題解決の方法を検討する。木質バイオマスを燃料とした場合の安定的供給と品質確保, は居住域のエネルギー調達に根幹をなす課題である。小委員会で需要のモデル化とその評価手法を検討していく。これは木材及び木質バイオマスの一層の活用の貢献につながるものといえる。</p> <p>初年度: 木質バイオマス生産と流通・消費のモデルとなる取り組みを行っている地域において, 地方創成のモデル化の枠組みを探り, 必要な要点を分析する。木質バイオマスの活用により地域経済振興を行おうとしている先進事例を調査する。</p> <p>2 年度: 地域経済の活性化と同時に低炭素社会推進に貢献する木質バイオマス活用方針を明確にする。</p>	
委員構成 (委員名 (所属))	委員公募の有無: 無	
	主査: 浅野良晴 幹事: 上田里絵 委員: 大野航輔, 北村俊夫, 小林謙介, 山海敏弘, 武田孝志, 長野晃弘, 早川慶朗, 麓英彦, 福代和宏, 山田昌宏	
設置 WG (WG 名: 目的)		
2020 年度予算	80,000 円	ホームページ公開の有無: 無 委員会 HP アドレス:

項 目	自 己 評 価
委員会開催数	5 回 (年度内計画を含む)
刊行物 (シンポジウム資料等は 除く)	
講習会	
催し物 (シンポジウム・セミナー等) *能力開発支援事業委員会 承認企画	
大会研究集会	
対外的意見表明・パ ブリックコメント等	

<p>目標の達成度 (当初の活動計画と得られた成果との関係)</p>	<p>1. 岡山県西粟倉村の百年の森事業を見学した。薪ボイラーによる温浴施設と木質チップボイラーによる地域熱供給施設がある。またバイオマス発電施設を建設中である。熱供給事業は4系統6施設に熱導管を設置している。熱事業者へエネルギーセンターの運用を委託し、熱販売して設備使用料を自治体へ払う形にするための立ち上がりの状況であった。この取組は安定するのに時間がかかることを確認した。村の中で木質バイオマスのサプライチェーンが作られ、村営の公共施設が需要先になるという恵まれた立地条件がある。このことは木質バイオマスによる地方創成のための重要な視点であることを確認した。</p> <p>2. 木質バイオマスの活用について(一社)日本木質バイオマスエネルギー協会の土肥氏を講師とする小講演会を開催した。国産ペレットとチップをエネルギー源とすることにより、カーボンニュートラルを実現することが重要である。こうしたことを踏まえて、SDGsの目標達成並びに木質バイオマスによる熱利用を普及させるためには、日本建築学会においてもどのような方針を打ち出すべきか検討していくことが喫緊の課題であることが分かった。</p>
<p>委員会活動の問題点 ・課題</p>	<p>1. 木質バイオマス利用の計画立案に地域計画面からのアプローチが必要であることから、その分野の委員を新たに加えていく必要がある。</p> <p>2. 2050年にカーボンニュートラルを目指す国の方針に沿って、木質バイオマスの位置づけを明確にしていくことが課題である。</p> <p>3. 海外の事例を含めて検討する必要がある。</p>